

あなたも『家政婦(夫)』として “家事サービス”の仕事をしませんか？

女性の活躍促進に期待が高まるなか、社会に貢献しながら生き生きと働くことのできる家政婦(夫)に、改めて注目が集まっています。家政婦(夫)は、「家政婦紹介所」から紹介を受け、家庭における「家事」を、お客様の指示に従い、代行・補助するのが主な仕事です。高齢化や女性の社会参加が進み、身の回りのお世話を必要とするお年寄りや家事の支援を求めている人が増えている現在、介護だけでなく家事や育児など、さまざまなニーズに柔軟に対応できる人材が求められています。

家政婦(夫)の役割とは →→→ 3ページ参照

掃除や洗濯、調理、買い物など日々の用事から、家計、家族の健康管理、住居や庭・花壇の手入れ、親戚や近所との付き合い、冠婚葬祭まで、私たちの日常生活にはさまざまな家事があります。それら、家庭の主婦や家族の皆様が行う家庭内での日常の家事をお手伝いするのが、家政婦(夫)の役割です。

家事は日常生活を円滑に送るためのものですので、家政婦(夫)は、お客様のお宅で、お客様によりよい生活を送っていただくことを目的として、その家庭になくはならない家事の担い手になることが求められる職業だといえるでしょう。

特に、要介護の世帯やお年寄りの一人暮らしの世帯、また共働き世帯などで、多くの世帯に家政婦(夫)の行う家事サービスを活用いただいています。

家政婦(夫)になるには →→→ 2ページ参照

家政婦(夫)のお仕事の紹介を受けるためには、まず「家政婦紹介所」に「求職登録」をする必要があります。求職登録の際は、希望する労働条件等について紹介所へ具体的にお伝えください。その後、紹介所から求職登録時の条件に見合うお仕事が紹介されます。

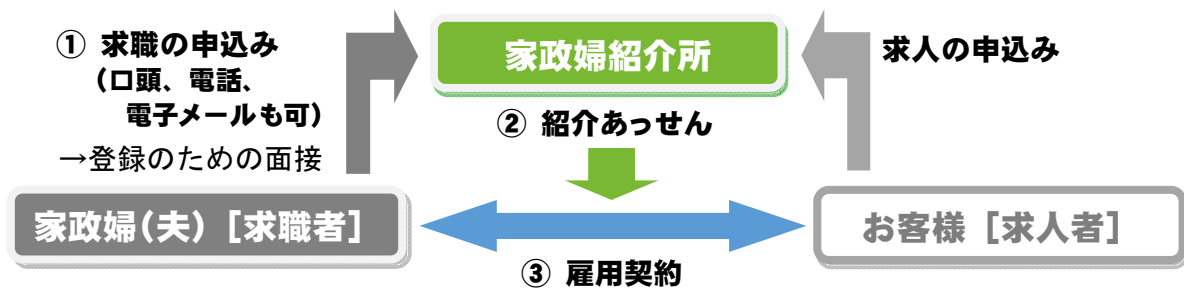
※「家政婦紹介所」は、厚生労働大臣の許可を受けて職業紹介を行う事業者です。

雇用形態や賃金は？ →→→ 3・4ページ参照

紹介所の紹介により、家政婦(夫)と求人者であるお客様が労働条件に合意すると、家政婦(夫)とお客様との間で雇用契約が成立します。

家政婦(夫)の賃金額等の設定は、お客様との間で取り交わす「労働条件」に含まれるもので、お仕事の内容や働く地域、求人者の事情等により異なります。紹介所に求職登録をする際に、紹介の希望条件として、賃金額についてお伝えいただくことも可能です。

家政婦紹介所の職業紹介業務の流れ



① 求職申込み

家政婦(夫)の仕事を探している方は、求職者として家政婦紹介所に求職申込みを行う必要があります。原則として、申込みは求職登録票や求職申込書等により行われますが、口答、電話、電子メールなどでも差し支えありません。その後、紹介所は登録のための面接を行いますので、希望条件をお話してください。紹介所からは、職業紹介の進め方を説明し、個人情報の取扱いについて求職者の同意をいただきます。

② 紹介あっせん

家政婦紹介所では、家政婦(夫)の仕事希望する求職者に求人の内容を説明し、応募の意思を伺います。求職者が応募を希望する場合は、紹介状を発行します。この際に、併せて労働条件明示書をお渡しします。家政婦紹介所による紹介の場合、求職者と求人者との事前の面談はありませんので、家政婦(夫)が直接、お客様(求人者)の住まいや指定する場所に行くことになります。

③ 雇用契約

家政婦(夫)がお客様のもとへ行き、紹介状や労働条件明示書を確認してもらいます。求人者の了解を得ると、その時点で雇用契約が成立します。

④ 手数料

家政婦紹介所は、職業紹介のサービスに対する対価として、求人者から手数料を受領します。また、家政婦(夫)の求職者からは求職受付手数料(1件について690円を上限)を受領することができます。

家政婦(夫)として安心して働くために

家政婦(夫)の知識、技術を保証する「家政士」検定制度があります。

家政婦(夫)として働くにあたり、料理が上手でない、掃除・洗濯が不得意、などと不安に思いませんか。そのような方を支援する制度として、公益社団法人日本看護家政紹介事業協会が実施している「家政士」の検定制度があります。

家政士は、衣食住に関わる家事サービスを中心に、介護や子育て支援など、家族に寄り添って生活全体をサポートし、また、コミュニケーション力やホスピタリティに優れた「家族のパートナー」として、オールラウンドの生活支援を行います。

この資格は、厚生労働大臣認定の公的資格ですので、取得することによって家事サービスの知識・技能が認められた証明となり、自信と誇りをもって働くことができます。

家政婦(夫)に関するアンケート結果など

1. 家事サービスの主な仕事内容

家政婦(夫)は、実際の家事サービスでどのような仕事を行っているのでしょうか。
公益社団法人日本看護家政紹介事業協会が行った「家事サービス求職者アンケート調査」から主な仕事の種類を抜き出してみました(複数回答)。

家事サービスの仕事内容としては、「掃除・片付け」、「洗濯」、「料理」に「買い物等外への用足し」を組み合わせて行うパターンが多いようです。また、高齢者のお世話も重要な仕事であることがわかります。

- | | |
|---|---------|
| ① 掃除・片付け | (86.7%) |
| ② 洗濯 | (66.5%) |
| ③ 料理 | (61.6%) |
| ④ 買い物等外への用足し | (49.4%) |
| ⑤ 高齢者のお世話
(病院等の外出・散歩の付き添い、身の回りの世話など) | (47.8%) |
| ⑥ ペットの世話 | (8.1%) |
| ⑦ 育児
(保育園等への送迎、食事・お風呂の世話など) | (2.5%) |
- など



2. 家政婦(夫)の賃金はどのくらい?

家政婦(夫)として働くときのどのくらいの賃金がもらえるのでしょうか。
賃金は、雇用契約に基づいて決まりますので、お仕事の内容や働く地域、求人者の事情等により異なります。参考までに、東京地域における家事サービスの時間単価(賃金に相当する部分)の平均値(都内の19の家政婦紹介所のホームページに掲載された、利用料金の平均値)を例示します。

・ 1時間 1,682円 ・ 3時間 4,893円 ・ 8時間 10,905円

3. 家政婦(夫)として働くことのメリット

家政婦(夫)として働くことを希望した理由を、実際に家事サービスに従事して働いている家政婦(夫)さんにお聞きしました(家事サービス求職者アンケート調査、複数回答)。
家政婦(夫)には、自分の生活との調和を図りながら、年齢に関わりなく働けるというメリットがあると言えます。

- | | |
|--------------------------------|---------|
| ① 年齢に関わらず働けるから | (71.9%) |
| ② 働く期間・時間を自分で選べるから | (55.2%) |
| ③ 仕事と私生活の両立がしやすいから | (47.7%) |
| ④ 人の役に立つ仕事だから | (43.4%) |
| ⑤ これまでの就業経験や家事・介護・育児の経験を活かせるから | (40.8%) |

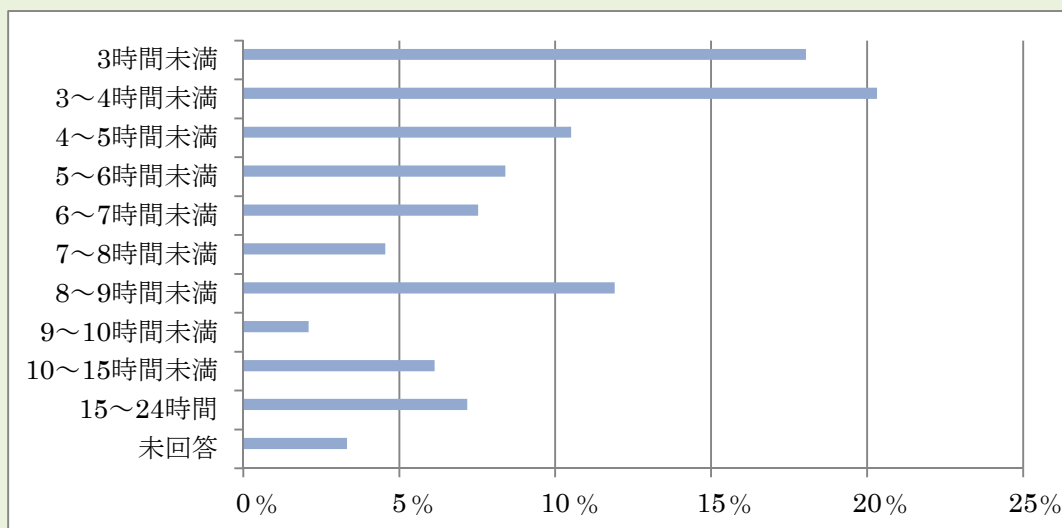
このように、「年齢に関わらず働けるから」とする回答が7割を超えています。
実際に働いている家政婦(夫)さんの年齢構成をみても、全体の4分の3は60歳以上ですし、70歳以上の方も27%いらっしゃいます。

家事サービスの勤務時間や勤務日数は多様。 あなたのライフスタイルに合った働き方がみつかります!

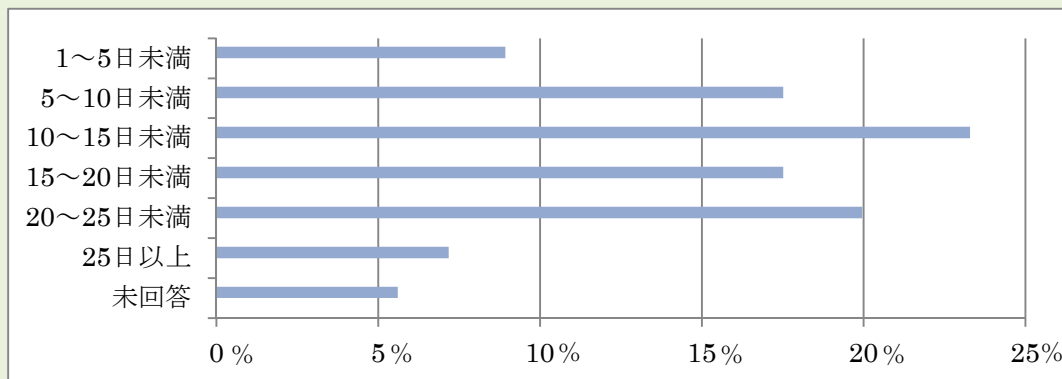
家政婦（夫）として家事サービスで働く場合には、短時間で家庭生活と両立しながら働きたい、生活できる賃金がほしいのでフルタイムで働きたいなど、いろいろな希望があると思います。家政婦（夫）は、自分の生活に合わせて柔軟に働けるというメリットがあり、「家事サービス求職者アンケート」によると、次のような多様な働き方のパターンが見えてきます。

フルタイムで働いたり、短時間勤務を組み合わせたり、勤務日数にも長短がありますので、さまざまな形で働くことが可能となります。

家事サービスの1日の勤務時間



家事サービスの1か月の勤務日数



お問い合わせ先

ご不明点やご質問などがございましたら、
「公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会」にお問い合わせください。

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町 3-2

TEL. 03-3353-4641 / FAX. 03-3353-4326

URL <http://www.kanka.or.jp>